

報道関係各位

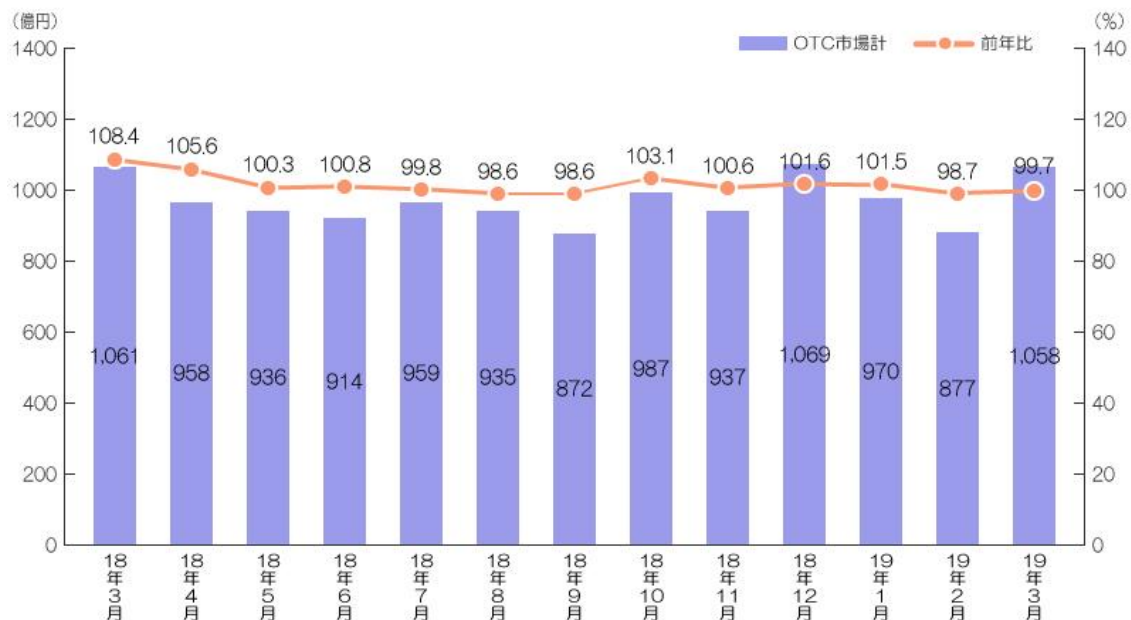
ニュースリリース
2019年4月24日
株式会社インテージヘルスケア

2019年3月度一般用医薬品(OTC)市場 薬効別ランキング
鼻炎治療剤、大容量商品が人気!
アレルギー用目薬は振るわず

株式会社インテージヘルスケア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：仁司与志矢、以下インテージヘルスケア）は、全国一般用医薬品（OTC）販売動向調査のデータを基に、「2019年3月度一般用医薬品 薬効別ランキング」を発表しました。

1.2か月連続で前年比を下回るも、過去4年の3月の平均を100とした場合の指数は103.8で平年を上回る 「一般医薬品（OTC）市場の販売金額推移」

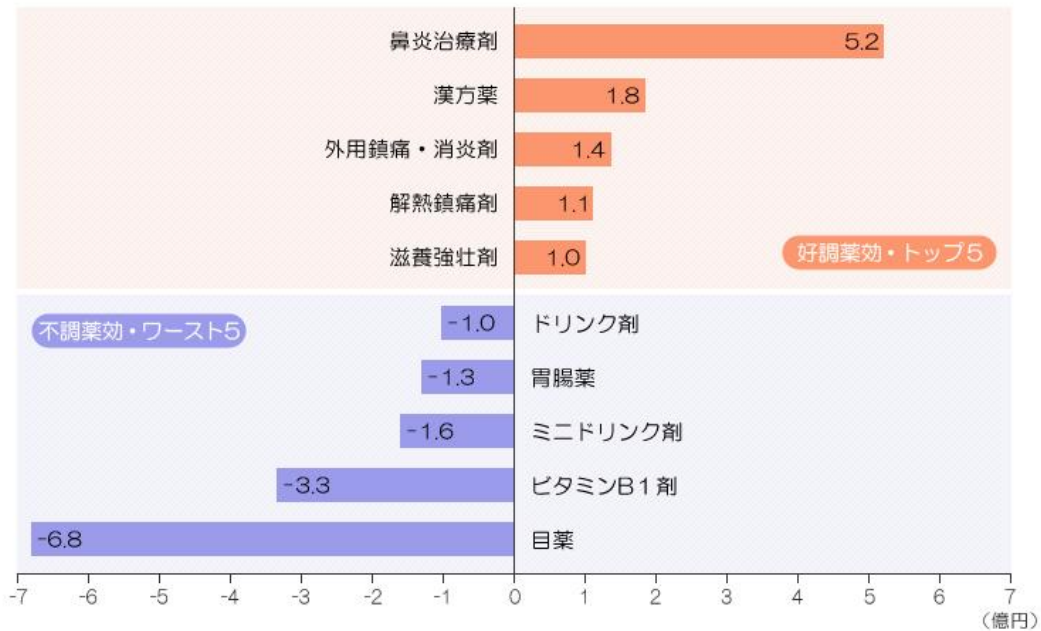
一般用医薬品（OTC）市場の販売金額推移



3月のOTC市場の販売金額は、前年同月比99.7%の1058億円でした。昨年3月は花粉の飛散量が非常に多かったと推測され、関連薬が過去10年間の市場規模トレンドで最高値となった反動もあり、前年比マイナスとなりました。しかし、過去4年の3月の平均を100とした場合の指数は103.8と、平年を上回りました。

2. 鼻炎治療剤は、販売金額は好調なもの販売個数は減少。アレルギー用目薬を中心に目薬が不調「好調薬効トップ5、不調薬効ワースト5（金額前年同月差）」

当月度好不調薬効 前年差



当月の花粉関連薬は、昨年3月が記録的な販売金額だったことや、販売金額の立ち上がりが昨年と比べて一週間ほど早かったため、大幅な伸びには至りませんでした。花粉関連薬の販売金額は、3月4日の週をピークに減少しています。鼻炎治療剤は、大容量商品が好調だったため販売金額は前年を上回りましたが、販売個数は減少となりました。不調薬効となった目薬は、アレルギー用目薬を中心に前年の水準を下回りました。

【3月のトピック：2018年度（4-3月計）のOTC市場】

2018年度のOTC市場推計販売金額は1兆1471億円で、2015年度からの微増傾向が続きました。市場の伸び率は鈍化したものの、前年を上回りました。

推計販売金額構成TOP10の薬効別では、3年連続トップは総合感冒薬、次いでドリンク剤となっています。漢方薬、鼻炎治療剤はそれぞれ一ツランクが上がり、胃腸薬が2ランクダウンという結果になりました。

2018年度（4-3月計） OTC市場 推計販売金額推移と前年比



◆SDI（全国一般用医薬品パネル調査）◆1960年調査開始 ※2018年4月度から調査設計を変更しました

対象業態	OTC 医薬品を販売しているドラッグストア、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ホームセンター・ディスカウントストア
エリア	全国
調査店舗数	3,245 店舗
データ収集方法	POS データのオンライン収集
対象カテゴリー	医薬品、医薬部外品 (対象カテゴリーのバーコードが付与されている商品のみ)
調査項目	各店舗におけるバーコード別の販売年月日、販売個数、販売金額など

【株式会社インテージヘルスケア】 <https://www.intage-healthcare.co.jp/>

株式会社インテージヘルスケアは、ヘルスケア領域のマーケティングリサーチおよび医薬品開発・製造販売後調査・安全性業務支援をコアビジネスと位置付けています。インテージグループのヘルスケア領域を担う各社※と一体となり、ソリューションを提供。それにより、ヘルスケア領域のあらゆる課題に対して、「医療消費者」起点のデータの価値化による、最適な意思決定をサポートしていきます。

インテージヘルスケアは2019年4月、株式会社アスクレップと株式会社アンテリオが経営統合し、スタートしました。

※ 株式会社協和企画、株式会社医療情報総合研究所、株式会社プラメド、Plamed Korea Co., Ltd.

【報道関係のお問い合わせ先】

■株式会社インテージヘルスケア

経営企画部 川畑（かわばた）

TEL : 03-5294-8393(代)

お問い合わせ : pr-ihc@intage.com

【本調査に関するお問い合わせ先】

■株式会社インテージヘルスケア

コンシューマーヘルスケア・ソリューション部

担当 : 有方（ありかた）

TEL : 03-5294-8393(代)

「お問合せフォーム」 <https://www.intage-healthcare.co.jp/contact/service/>